

TECH-BEE カスタムコントロールマニュアル

初版

テロップ
ドロップファイルリスト

TECH-BEE

ホームページ <http://techbee.web.fc2.com/>

ご意見ご要望 <http://techbee.blog14.fc2.com/?all>

メールアドレス tech-bee@mail.goo.ne.jp

改定履歴

版	公開日	摘要
第1版	2011/03/26	初版公開 テロップ(1.1.0)・ドロップファイルリスト(1.0.0) 追加

目次

カスタムコントロールの準備	1
テロップ (cctTelop)	2
ドロップファイルリスト (DropFileList)	3

カスタムコントロールの準備

はじめに

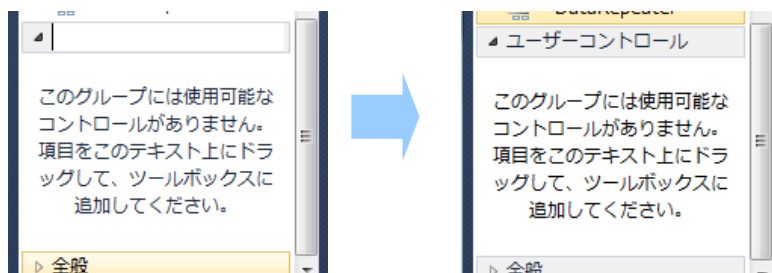
カスタムコントロールとは、.NET Framework クラス ライブラリに属さないコントロールで、ユーザー コントロールを含めた総称です。
ASP.NET で使用する カスタム サーバー コントロールと、Windows Form アプリケーションで使用する カスタム クライアント コントロールがあります。
また、一般的には標準コントロールの機能を拡張したものをカスタムコントロール、ユーザーコントロール用のベースに単体もしくは複数のコントロールを配置し意味のある一連の機能をまとめたものをユーザーコントロールと呼び、区別します。

登録方法

VB.net, C# などの開発環境でフォームもしくはユーザーコントロールのデザイン画面を開きます。

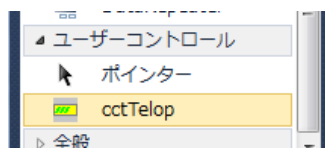
ユーザーコントロールを登録するタブの追加

デフォルトでは画面の左側に配置されているツールボックスの中で右クリックをし、タブの追加をクリックします。
タブ名の入力を促されますので、ユーザーコントロールなど分かりやすい名称を指定してください



ユーザーコントロールの追加

エクスプローラー上から任意のコントロールの dll をドラッグして、上記にて作成したタブにドロップすることにより追加することが出来ます。



※ 利用環境が適切でない場合ドラッグアンドドロップしてもタブ内に表示されないことがあります。
例) コントロールが .netFrameWork4.0 で開発されていて、開発環境が 2.0 となっているなど

使用方法

標準のコントロールと同じようにフォームやユーザーコントロールに貼り付けて使用してください
詳細は個々のコントロールのマニュアルをご確認ください

概要

Windows Form 上で任意の文字列をスクロールして表示します。
同時に複数の文字列をセットすることが出来、順番に表示します。
実行途中での追加・割り込みができます。
ひとつの文字列ごとに表示終了時にイベントを発生させることができます。

分類

ユーザーコントロール

ファイル名

cctTelop.dll

準備

カスタムコントロールの準備方法を参照してください

利用方法

フォーム上に貼り付けてください

プロパティ

名称	Read	Write	型	摘要
Caption	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	String	テロップで表示する文字列を指定します。 設定と共に表示しなおします。
AddCaption		<input type="radio"/>	String	テロップで表示する文字列を追加します。
AddCaptions		<input type="radio"/>	String()	テロップで表示する文字列を配列で追加します。
InsCaption		<input type="radio"/>	String	実行時に現在表示している文字列と次の文字列の間に文字列を割りこませることができます。
CaptionColor	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Color	文字色を指定します。
BackColor	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Color	背景色を指定します。
Speed	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Integer	文字列が流れるスピードを指定します。
CaptionFont	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Font	文字列のフォントを指定します。
Active	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Boolean	True にすると文字列が流れ、False にすると止まります。
BeforeSpaces		<input type="radio"/>	Integer	それぞれの文字列の先頭に自動的にスペースを付加することが出来、スペースの数を指定します。

イベント

名称	摘要
MessageEnd	個々の文字列が流れ終わったときにイベントが発生します。

利用例

Public Class Form1

```

Private Sub Form1_Load(ByVal sender As System.Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
    Dim strCaptions() As String = Nothing
    Dim intCNT As Integer
    CctTelop1.Caption = "最初からのメッセージ"
    For intCNT = 0 To 2
        ReDim Preserve strCaptions(intCNT)
        strCaptions(intCNT) = CStr(intCNT + 1) & "つ目の追加"
    Next
    CctTelop1.AddCaptions = strCaptions
    CctTelop1.AddCaption = "最後の追加"
End Sub

Private Sub CctTelop1_MessageEnd(ByVal sender As Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles CctTelop1.MessageEnd
    MsgBox("終わったよ!")
End Sub

Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
    CctTelop1.InsCaption = "割り込み"
End Sub

End Class

```

概要

Windows Form 上で、任意のファイルをドラッグアンドドロップすると、コントロール中のリストボックスにファイル名をフルパスで追加します。プロパティやファンクションによりリスト中のファイル名を取得することが出来ます。右クリックメニューによりリスト中の任意のファイル名を除外することが出来ます。リスト内の全選択・全解除をすることが出来ます。

分類

ユーザーコントロール

ファイル名

DropFileList.dll

準備

カスタムコントロールの準備方法を参照してください

利用方法

フォーム上に貼り付けてください

サブプロシージャ

名称	引数	摘要
gsub_blnListClear		リスト中の全ファイルを消去します。
gsub_setAllSelect	blnSelect	引数に True を指定するとリスト内の全ファイルを選択します。 False を指定すると全ファイルの選択を解除します。

ファンクション

名称	引数	型	摘要
gfnc_strFileList		String()	リスト中の全ファイル名を取得します。
gfnc_strFileList	blnSelect	String()	リスト中の全ファイル名を取得します。 引数に True を与えると選択データのみを返します。

プロパティ

名称	Read	Write	型	摘要
FileName	<input type="radio"/>		String()	リスト中の全ファイル名を取得します。
FileName(blnSelect)	<input type="radio"/>		String()	リスト中の全ファイル名を取得します。 引数に True を与えると選択データのみを返します。

利用例

```
Public Class Form1
```

```
    Private Sub cmdAllSelect_Click(ByVal sender As System.Object, _  
                                   ByVal e As System.EventArgs) Handles cmdAllSelect.Click  
        DropFileList1.gsub_setAllSelect(True)  
    End Sub
```

```
    Private Sub cmdExclusion_Click(ByVal sender As System.Object, _  
                                   ByVal e As System.EventArgs) Handles cmdExclusion.Click  
        DropFileList1.gsub_setAllSelect(False)  
    End Sub
```

```
    Private Sub cmdAllFile_Click(ByVal sender As System.Object, _  
                                   ByVal e As System.EventArgs) Handles cmdAllFile.Click  
        Dim strFileNames() As String = DropFileList1.FileName  
        Dim intCNT As Integer  
        Dim strMSG As String = ""  
        strMSG += "リスト中のファイル名は" & vbCrLf  
        If Not strFileNames Is Nothing Then  
            For intCNT = 0 To strFileNames.Length - 1  
                strMSG += strFileNames(intCNT) & vbCrLf  
            Next  
            strMSG += "です。"  
        Else  
            strMSG += "ありません"  
        End If  
        MsgBox(strMSG)  
    End Sub
```

```
Private Sub cmdSelectedFile_Click(ByVal sender As System.Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles cmdSelectedFile.Click
    Dim strFileNames() As String = DropFileList1.FileName(True)
    Dim intCNT As Integer
    Dim strMSG As String = ""
    strMSG += "選択されたファイル名は" & vbCrLf
    If Not strFileNames Is Nothing Then
        For intCNT = 0 To strFileNames.Length - 1
            strMSG += strFileNames(intCNT) & vbCrLf
        Next
        strMSG += "です。"
    Else
        strMSG += "ありません"
    End If
    MsgBox(strMSG)
End Sub

Private Sub cmdQuit_Click(ByVal sender As System.Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles cmdQuit.Click
    Me.Close()
End Sub

End Class
```